



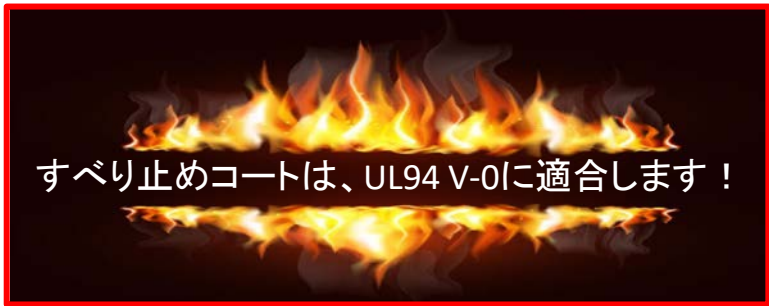
# すべり止めコートの難燃性に関して

**特長：** すべり止めコートは、エポキシ樹脂とシリカ粒等の無機充填剤を主成分とした“塗るタイプ”の防滑用ライニング材です。

防滑性能に優れ、長期間防滑性能を維持し、歩行者はもちろん、フォークリフトなどの車輛の滑り止めに有効で、且つ“自己消火性”を有するので極めて燃え難い素材で構成されています。

そして“すべり止めコート”は、UL94 V-0適合の難燃性を有しており、火気厳禁エリアなどへの塗布にも安心して御使用頂けます。

## ◎極めて燃え難い防滑用コート材



◎UL94 V-0適合の“すべり止めコート”は、自己消火性を有するので極めて燃え難い素材であり、床面へ塗布した際に延焼する心配が不要です。



◎外部試験機関で実施した「UL94V法試験結果」を提示することにより、消防署等からの査察があっても「火気厳禁」エリアへの塗布が認可されます！

(提出の際は、A4サイズで 鮮明に印刷します！)

**試験報告書**

平成28年11月9日

No.442-2016-2081

1. 依頼者: 関西パナソニック株式会社 様

2. 受付日: 平成28年10月17日

3. 押付: 防滑用の塗布剤

4. 試料: KAN パナ ソーレ止めコート 1点

5. 試験方法: UL94: 1996 ①UL Standard for Safety for Tests for Flammability of Plastic Materials For Parts in Devices and Appliances, 50W (20mm) 垂直燃焼試験

試験片形状: 縦横品

試験片形状: 約125mm×33mm×5mm

試験条件: ①試料サイズ: 50x33x5mm 4時間以上

②70±1℃×168時間 → 一度25±2℃、アンダーグ内 4時間以上

試験温度: 3±0.2℃、40%RH

炎源の位置: メタンガス

検出機器: ①垂直燃焼試験機 燃焼試験機 UL-94V

次頁に続く

4. 試験結果

UL94 60W(20mm) 垂直燃焼試験

試験条件: ①試料サイズ: 50x33x5mm 4時間以上

項目	1回目					2回目				
	m1	m2	m3	m4	m5	m1	m2	m3	m4	m5
第1回燃焼後の残存時間 t <sub>1</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第2回燃焼後の残存時間 t <sub>2</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第3回燃焼後の残存時間 t <sub>3</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
燃焼した後の燃焼時間の合計 (秒)	0					—				
第2回目燃焼した後の残存時間と燃焼した時間の合計 t <sub>2</sub> +t <sub>3</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
支持フランジまでの燃焼の有無	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
約300mm 下に置いた燃焼用紙に燃え移る燃焼の有無	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
判定	UL94 V-0 適合									

試験条件: ①70±1℃×168時間 → 一度25±2℃、アンダーグ内 4時間以上

項目	1回目					2回目				
	m1	m2	m3	m4	m5	m1	m2	m3	m4	m5
第1回燃焼後の残存時間 t <sub>1</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第2回燃焼後の残存時間 t <sub>2</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
第3回燃焼後の残存時間 t <sub>3</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
燃焼した後の燃焼時間の合計 (秒)	0					—				
第2回目燃焼した後の残存時間と燃焼した時間の合計 t <sub>2</sub> +t <sub>3</sub> (秒)	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
支持フランジまでの燃焼の有無	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
約300mm 下に置いた燃焼用紙に燃え移る燃焼の有無	無	無	無	無	無	—	—	—	—	—
判定	UL94 V-0 適合									

以上

(株)TSC 442-10-10970



# すべり止めコートの難燃性に関して

## ◇UL94V法試験◇

UL規格とはUL (Underwriters Laboratories Inc.) が認定を行っている、アメリカにおいて主に電気製品に対する安全規格です。

UL94V法試験は、UL規格に準拠したプラスチック材料の燃焼試験です。対象物、試験方法(接炎方法・炎の強さ)の違いにより5種類の試験方法があります。①プラスチック材料:『V』・『5V(垂直接炎)』・『HB(水平接炎)』、②フィルム:『VTM(垂直接炎)』、③発泡体:『HBF(水平接炎)』

## ◇UL94V法試験方法◇

【20mm垂直燃焼試験 (IEC60695-11-10 B法, ASTM D3801)】

試験片(125±5×13±0.5×t mm)をクランプに垂直に取付け、20mm炎による10秒間接炎を2回行い、その燃焼挙動によりV-0, V-1, V-2, Notの判定を行います。

試験片の前処理条件:

- ① 23±2℃、50±5%RH 48時間以上
- ② 70℃±1℃×168時間 → 温度23℃±2℃  
デシケータ内で4時間以上

試験室温湿度:

24℃、45%RH

点火器の熱源:

メタンガス

※RH: 相対湿度 (Relative Humidity)

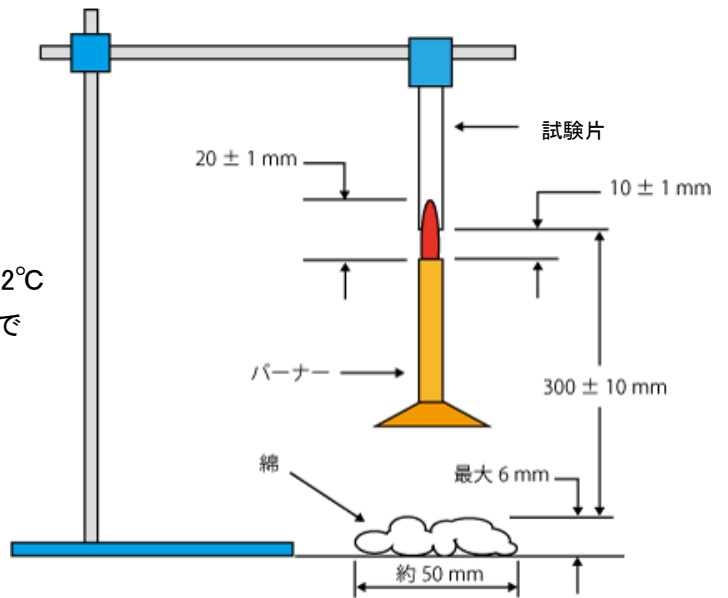


図 V-0、V-1、V-2 の垂直燃焼試験

## ◇UL94Vの判定基準◇

判定基準	燃焼性分類		
	V-0	V-1	V-2
5本の試験片の燃焼時間	10秒以下	30秒以下	30秒以下
5本の試験片の合計燃焼時間	50秒以下	250秒以下	250秒以下
5本の試験片の燃焼+グローイング時間	30秒以下	60秒以下	60秒以下
クランプまでの燃焼	なし	なし	なし
滴下物による綿の着火	なし	なし	あり

## ◇補足◇

- V-0適合とは :
- いずれの接炎の後も、10秒以上燃焼を続ける試験片がなく、
  - 5個の試験片において 10回の接炎に対する総燃焼時間が 50秒を超えない。
  - 固定用クランプの位置まで燃焼する試験片がない。
  - 試料の下方に置かれた脱脂綿を発火させる 燃焼する粒子を落下させる試験片がない。
  - 2回目の接炎の後、30秒以上赤熱(グローイング)を続ける試験片がない。

以上